

「学生の授業評価」についての教員アンケート
集計結果報告（2012年度 前期分）

2013年 1月

実践女子短期大学自己評価委員会

はじめに

短期大学部長 萩野 敏

実践女子短期大学では、前後期それぞれの終了時にすべての開講科目において、学生による授業評価を「授業に関するアンケート」として実施し、各教員にはその集計結果を授業ごとに通知しています。本冊子、『「学生の授業評価」についての教員アンケート集計結果報告』は、この学生の授業評価を各教員がどのように受け止めているのかをアンケート形式で調査し、その結果を自己評価委員会が期ごとの報告書として毎年2回まとめているものです。

このような形での教員アンケート結果の報告は今年で9年目を迎え、今回の報告書は通算17号目になります。第三者評価に向けた「自己点検・評価報告書」の作成という大きな仕事と並行して、本報告書を予定通りに完成させるため地道に作業を続けてこられた、松尾委員長をはじめとする自己評価委員会の委員の方々のご尽力に感謝の意を表したいと思います。

「教員アンケート」には、選択肢から回答を選ぶ項目と自由記述を行う項目とがあります。前者に関しては、集計した数値を表やグラフにして前年同期の結果と比較することができるようにしています。後者に関しては、原則として寄せられた声をそのまま記載していますが、文意を損ねない範囲での字句修正などを行っている場合もあります。「授業に関するアンケート」と「教員アンケート」の用紙は写しを巻末に載せています。

短期大学の規模縮小もあって、回答数は昨年度より少なくなっていますが、今回のアンケート調査でも多くの教員から回答を得ることができました。ご協力いただいたことに深く感謝いたします。本冊子は、授業を行う立場の教員だけでなく、受ける立場の学生をはじめ、多くの人の目に触れることができるように、短期大学図書館等で自由に閲覧できるようにしています。さまざまな形で本冊子が活用され、短期大学の各授業の改善と向上につながることを心より願っています。

2012 年度前期「学生による授業評価」に関する教員アンケートについて

自己評価委員会委員長 松尾昇治

2012 年度前期の『「学生の授業評価」についての教員アンケート集計結果報告』が完成しましたのでお届けします。先生方にはお忙しいなかをアンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。短期大学の規模縮小もあり、回答数は昨年度前期を下回りましたが、合計 45 通の回答が寄せられましたことに感謝申し上げます。

集計結果のグラフを見ますと、「学生の評価を全体としてどう受け止めましたか」という問いに対して、「十分納得できた」（46.7%）と「だいたい納得できた」（53.3%）とを合わせますと 100%となります。「あまり納得できない」との回答はありませんでした。今回の数値をみますと、学生が行った授業評価に対して、教員の理解がほぼ一致しているものと考えられます。

学生の授業評価の結果を踏まえ、授業の改善を図りたい点や教員から学生に対する要望などにつきましては、グラフ集計結果と合わせて「自由記述のまとめ」をお読み頂きたいと思います。ここでは、各設問内の自由記述欄に寄せられましたご意見やご感想をまとめてあります。授業評価に対する各教員のコメントには学生の状況把握や授業の経験知などが含まれておりますので、授業改善の参考にしていただきたいと思います。

なお、編集にあたりましては、「特になし」などの記述は無回答といたしました。繰り返しを避けるため、同じ趣旨のご意見も一つにまとめました。本委員会として今回も読みやすさを考慮するとともに、回答者名や担当科目が特定されることを避けるために、字句や表現の修正を行っておりますことをご了解いただきたいと思います。

設問 5（授業改善に関する学校への要望）および設問 6（学生アンケートの内容、実施方法）においても、多くのご要望をいただいております。本委員会において内容を精査し、ご要望に対する回答を本委員会及び事務部で作成し、「教員アンケートによるご意見」としてまとめました。貴重なご意見をいただきありがとうございました。今後、改善にむけて努力していきたいと考えておりますが、短期大学の置かれております状況についてもご理解いただきたいと思います。

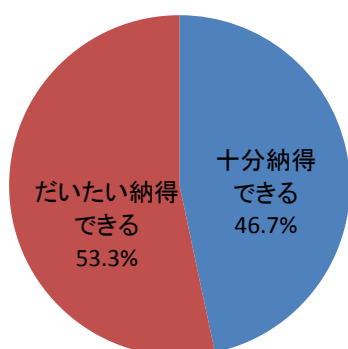
この報告書が教員の皆様に活用され、授業の改善および向上に資することができますことを願っております。

I. 設問 1、3、4に関する集計結果

— 平成24年度前期と平成23年度前期との比較 —

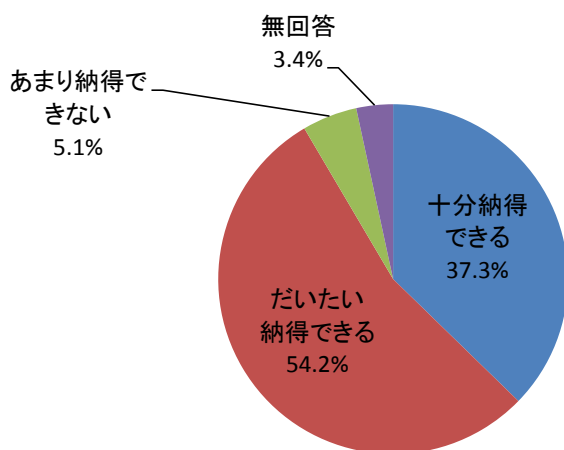
設問 1. 学生の評価を全体としてどう受けとめましたか。(一つ選んでください)

平成24年度前期



選択肢	回答(人)	割合
十分納得できる	21	46.7%
だいたい納得できる	24	53.3%
あまり納得できない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	45	100.0%

平成23年度前期



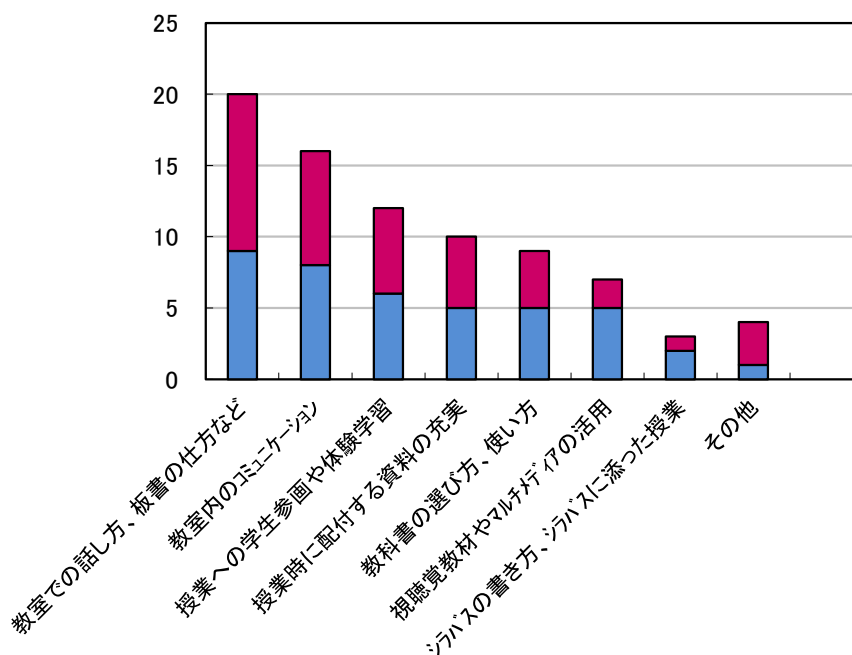
選択肢	回答(人)	割合
十分納得できる	22	37.3%
だいたい納得できる	32	54.2%
あまり納得できない	3	5.1%
無回答	2	3.4%
合計	59	100.0%

次の設問3および設問4は、学生の評価に「十分納得できた人」「だいたい納得できた人」の2群の先生方が、どのように授業改善を図りたいと考えているのか、学生に対してどのような要望をお持ちかを、それぞれ棒グラフにしました。

設問3-1 学生の評価結果を踏まえて、今後の授業で特に改善を図りたい点はどのようなことですか。（複数回答可）

平成24年度 前期

(人)



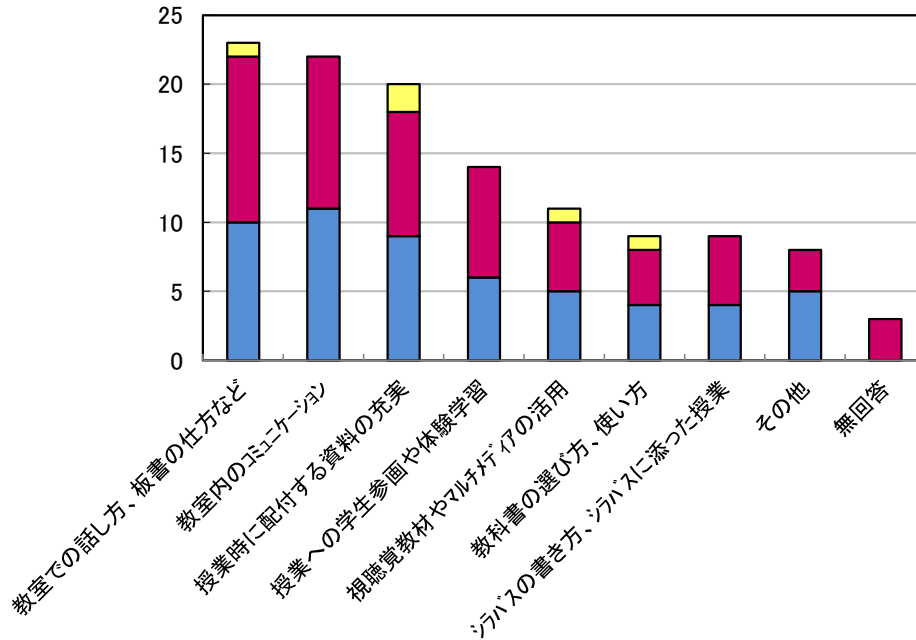
■学生の評価にだいたい納得できた人

■学生の評価に十分納得できた人

授業で改善を図りたい点	学生の評価に十分納得できた人	学生の評価にだいたい納得できた人	合計 (人)
教室での話し方、板書の仕方など	9	11	20
教室内のコミュニケーション	8	8	16
授業への学生参画や体験学習	6	6	12
授業時に配付する資料の充実	5	5	10
教科書の選び方、使い方	5	4	9
視聴覚教材やマルチメディアの活用	5	2	7
シラバスの書き方、シラバスに添った授業	2	1	3
その他	1	3	4
合計	41	40	81

平成23年度 前期

(人)



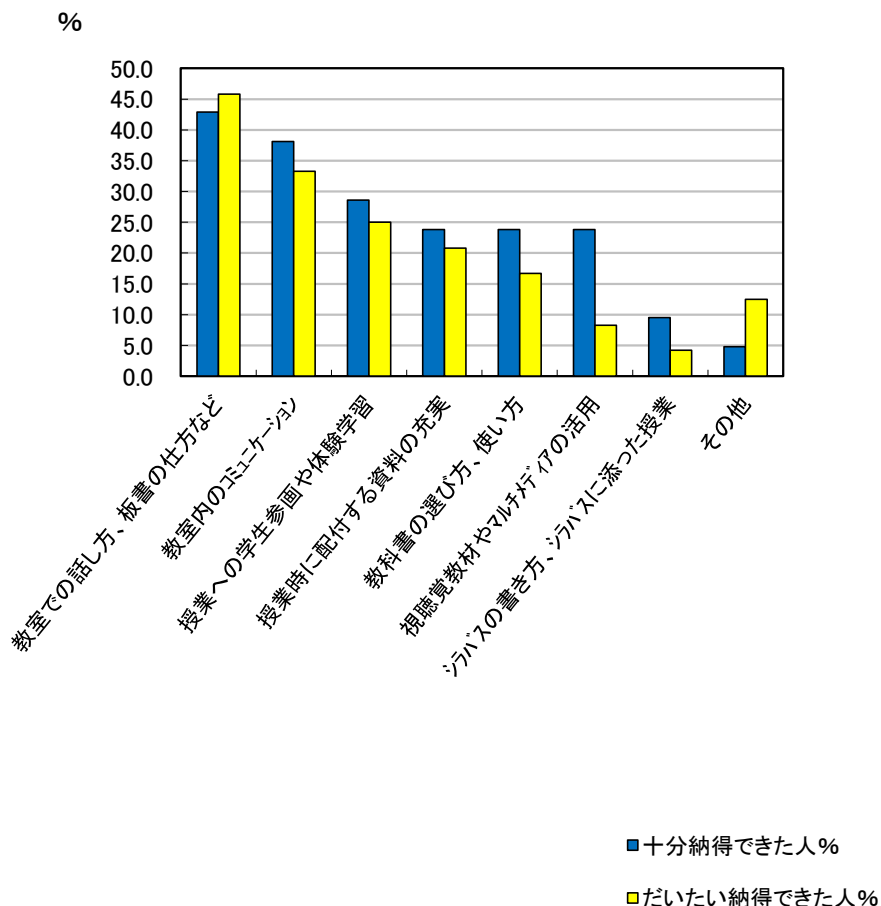
- 学生の評価にあまり納得できなかった人
- 学生の評価にだいたい納得できた人
- 学生の評価に十分納得できた人

授業で改善を図りたい点	学生の評価に十分納得できた人	学生の評価にだいたい納得できた人	学生の評価にあまり納得できなかった人	合計 (人)
教室での話し方、板書の仕方など	10	12	1	23
教室内のコミュニケーション	11	11	0	22
授業時に配付する資料の充実	9	9	2	20
授業への学生参画や体験学習	6	8	0	14
視聴覚教材やマルチメディアの活用	5	5	1	11
教科書の選び方、使い方	4	4	1	9
シラバスの書き方、シラバスに添った授業	4	5	0	9
その他	5	3	0	8
無回答	0	3	0	3
合計	54	60	5	119

学生の評価に「十分納得できた人」と「だいたい納得できた人」の割合の差について

設問 3-2 学生の評価結果を踏まえて、今後の授業で特に改善を図りたい点はどのようなことですか。（複数回答可）

平成24年度 前期



授業で改善を図りたい点	十分納得できた人 (21人)		だいたい納得できた人 (24人)		合計 (人)
	人	%	人	%	
教室での話し方、板書の仕方など	9	42.9	11	45.8	20
教室内のコミュニケーション	8	38.1	8	33.3	16
授業への学生参画や体験学習	6	28.6	6	25.0	12
授業時に配付する資料の充実	5	23.8	5	20.8	10
教科書の選び方、使い方	5	23.8	4	16.7	9
視聴覚教材やマルチメディアの活用	5	23.8	2	8.3	7
シラバスの書き方、シラバスに添った授業	2	9.5	1	4.2	3
その他	1	4.8	3	12.5	4

※ 無回答を除く1人当たり回答件数

2.0件

1.7件

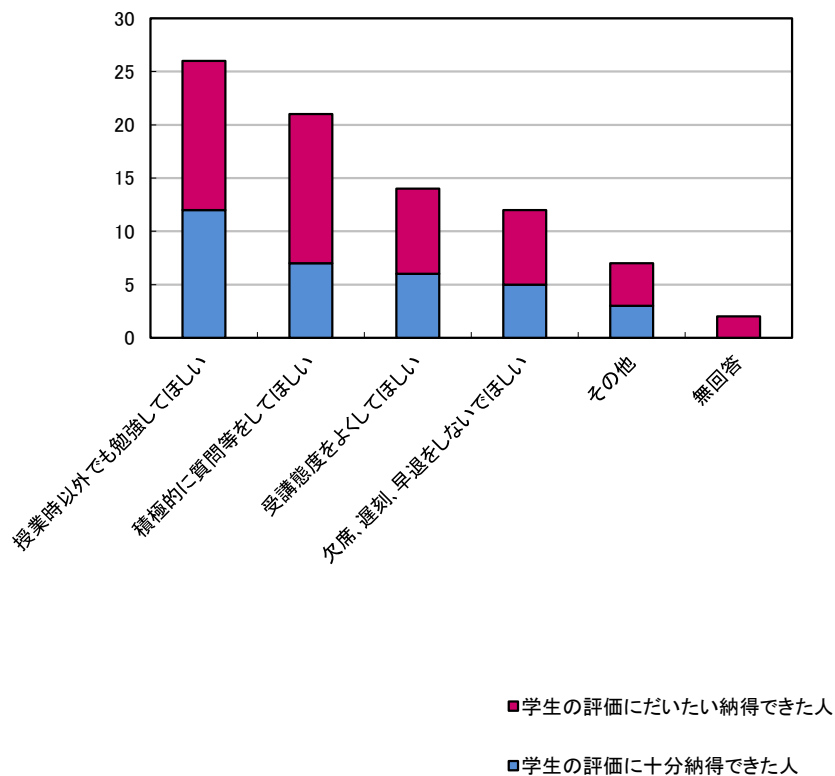
(注1) … 「十分納得できた人」21人に対する割合

(注2) … 「だいたい納得できた人」24人に対する割合

設問 4-1 この評価結果を見て、学生に対する要望としてはどのようなことがありますか。
(複数回答可)

平成24年度 前期

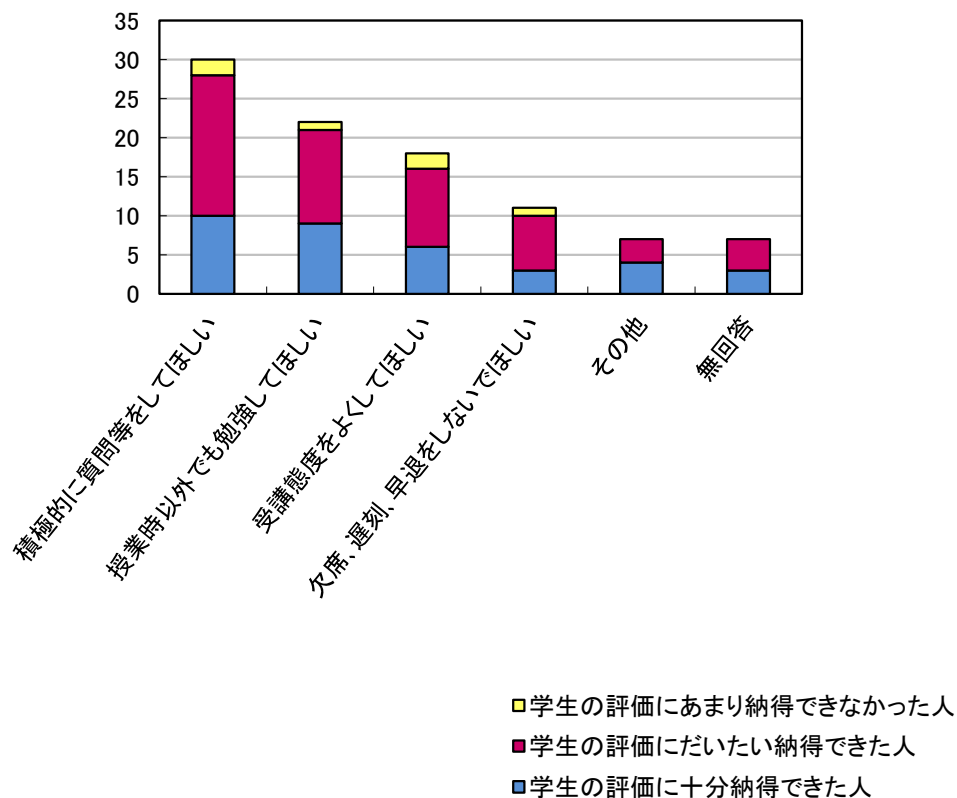
(人)



学生に対する要望	学生の評価に十分納得できた人	学生の評価にだいたい納得できた人	合計 (人)
授業時以外でも勉強してほしい	12	14	26
積極的に質問等をしてほしい	7	14	21
受講態度をよくしてほしい	6	8	14
欠席、遅刻、早退をしないでほしい	5	7	12
その他	3	4	7
無回答	0	2	2
合計	33	49	82

平成23年度 前期

(ウ)

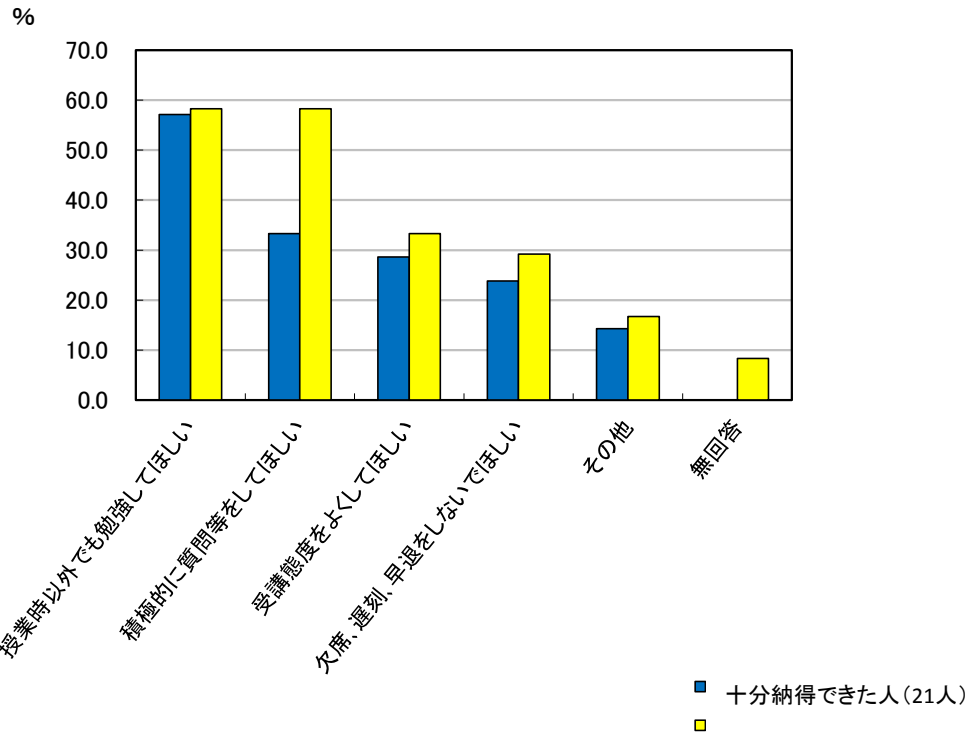


学生に対する要望	学生の評価に十分納得できた人	学生の評価にだいたい納得できた人	学生の評価にあまり納得できなかった人	合計 (人)
積極的に質問等をしてほしい	10	18	2	30
授業時以外でも勉強してほしい	9	12	1	22
受講態度をよくしてほしい	6	10	2	18
欠席、遅刻、早退をしないでほしい	3	7	1	11
その他	4	3	0	7
無回答	3	4	0	7
合計	35	54	6	95

設問 4-2 この評価結果を見て、学生に対する要望としてはどのようなことがありますか。

(複数回答可)

平成24年度 前期



学生に対する要望	十分納得できた人 (21人)		だいたい納得できた人 (24人)		合計 (人)
	人	%	人	%	
授業時以外でも勉強してほしい	12	57.1	14	58.3	26
積極的に質問等をしてほしい	7	33.3	14	58.3	21
受講態度をよくしてほしい	6	28.6	8	33.3	14
欠席、遅刻、早退をしないでほしい	5	23.8	7	29.2	12
その他	3	14.3	4	16.7	7
無回答	0	0.0	2	8.3	2

※1人当たり回答件数

1.6件

2.0件

(注1) … 「十分納得できた人」 21人に対する割合

(注2) … 「だいたい納得できた人」 24人に対する割合

Ⅱ. 設問 1 から 6 に関する自由記述のまとめ

*科目および担当者が特定される記述は、文章を損ねない範囲で修正いたしました。
また、類似の記述についてはまとめさせていただきましたことをご了承ください。

設問 1. 学生の評価を全体としてどう受けとめましたか。 (有効回答数 28/45)

1. 十分納得できる (有効回答数 15/21)

- ・学生のコメントから、大学レベルとして十分高度な内容に踏みこんでも、学生は知的好奇心から十分に受けとめてくれることがうかがえた。
- ・実生活になるべく応用できるようにと心掛けた点がよかった。
- ・すべて高く評価してもらってうれしいです。
- ・他大学で行っている同種の授業とほぼ同じ内容でした。ただ一部学生の私語の注意を繰り返さなければならなかったのが、授業の雰囲気が今一つ良くなかったと思います。
- ・総合満足度で 75%の学生が大変満足と回答していたが、授業のレベルや量を維持しつつ授業への意欲的な取り組みを実現するために、良好なコミュニケーションと雰囲気づくりに配慮したことを評価していただけたと考えています。
- ・評価の良い科目も評価の悪い科目も、学生自身の授業の取り組みが「授業とは関係のない会話をかなりした」「授業に意欲的に取り組まなかった」という学生ほど、教員への授業評価は厳しくなる傾向があることが読みとれた点です。
- ・ふたつの授業の総合満足度が、「大変満足」85～88%、「やや満足」と併せると 98～100%であった点。
- ・90 パーセントの学生が満足してくれたのは、よかったと思う。
- ・納得できる点は、自主的に履修している選択科目は、高い満足度が得られた点。学生の姿勢自体が必修とは異なることを感じた。また、レポートの添削を繰り返した授業は、自由記入欄にそれを評価するコメントが多く書かれていた点。
- ・演習の多い授業は学生の満足度が高い。
- ・グループでの授業なので、授業に関係ない話をよくしていたのは仕方ないかと思った。
- ・学生が、授業の意図を理解し、非常に満足してくれているので、十分納得できる。
- ・大半の受講者 (70.6%) が総合満足度「大変満足」との事で納得致しました。
- ・普段の授業からほとんど私語もなく、高い関心を持って学生が授業を受講していることを実感していました。それゆえ、総合満足度において、「満足」を感じた学生が 90%という数字に、納得しております。
- ・将来の職業選択を考える上で、重要な専門科目として受け止めてくれたので、評価として納得できます。

2. だいたい納得できる (有効回答数 13/24)

- ・今年の1年生の評価が、これまでに比べ、平均で0.2~0.7ポイント低い項目が多く、驚きました。毎年、学生の様子をみながら、授業を進めているので、結果が意外でした。
- ・レベルが高く量が多いとの回答が多かったようですが、この科目は学生が思っているより、統計や数学の能力を必要とするため、思っていた内容と異なるということが意見に反映しているように感じられます。
- ・参加型=発表中心型授業(2科目)の評価は高いが、講義中心型授業(2科目)のそれは低い。学生は自分自身が授業に参加したという意識が持てない授業の評価は低くする傾向にあり、たとえ教員側が資料を用意したり、スライドを見せたり一所懸命に取り組んでもそれがそのまま評価には繋がらない傾向にある、と改めて感じた。
- ・学生の学ぶ姿勢次第で評価は上下するので、正直なところ大学教育の本質を左右される指標ではないと考えます。
- ・毎年、内容は改訂しつつ、ほぼ同じように授業を行っているつもりだが、学生の評価が上下する。評価に振り回されないようにということか。
- ・科目によって総合満足度にばらつきがあるが、項目別平均と全体平均との比較では納得のいくグラフになっている。
- ・全く平均と同じだったので、普通だったかな、と思います。
- ・出席率が高く、基本的にまじめに講義を受けていた点は評価できる。但し、一部の学生は出席すること自体が目的となっており、講義中の私語により、全体的な雰囲気も阻害され、他の学生に悪影響を及ぼしている点は残念。
- ・1名ですが、講義中心の授業に対して、学生として認められないといった強い調子の意見を書いていました。この授業に関しては、初回と新名簿が来て途中から履修する学生にもその必然性を理解してもらい、ほぼ毎回聞く授業意見に対して提出が無かったので「2」としました。
- ・授業に非協力的・非積極的な態度が見受けられた学生からの評価は、全体的に低めでした。
- ・比較的よい評価をいただきましたが、授業中の学生の態度を見るとあまり熱心には見受けられませんでした。ですので、この評価に対しても半信半疑といったところ です。
- ・質問をする学生は少ないが、質問に対する教員の対応は適切かという質問には全員が答えるのはよくわからない。16、17の質問はしていないのに答える学生がいる。
- ・自身の態度等に関する自己評価は甘く、教員に対しての評価は厳しいという傾向は、相変わらずである。専門職として、実務に従事した際に役立つ内容を中心とした視点で授業を行っているが、校外実習体験前の時点ではなかなか実感がわかないためであると思われる。

3. あまり納得できない (有効回答数 0/0)

設問2. 授業のレベルと量についての学生の評価はいかがでしたか。この評価について、先生の側から見たご意見をお書きください。

a. レベルについて (有効回答数 34/45)

- ・高校まで何も知らなかったことについて授業をしているので、レベルとして難しく感じている面があるかと思われる。
- ・2年生で平均が4.8と4.9、2年生では4.1と4.2、1年生では1人ですが「やや難しい」としていました。例年より、1年生は低いものの、大半の学生は「ややそう思う」以上なので、まずまずでしょうか。
- ・レベルを下げてでも関心を持たない学生は関心を持たず、向学心のある学生は、むしろ高いレベルを求めることがコメントから理解できた。
- ・それほど高くはないと思いますが……。
- ・学生により高いレベルの知識技術を学んでほしいが、中には簡易な内容の方を望む学生もいるように思います。
- ・かなり基礎的なことから始めているので、取り組みやすかったと思う。
- ・「強くそう思う」と「ややそう思う」を合わせると87%なので、学生にちょうど合っているのではないかと思います。
- ・やや難しいと答えた学生もいたようですが、必修のため致し方ないかと思います。
- ・毎年、レベルを若干下げているものの、基本レベル重視の授業を展開する必要があると思う。
- ・レベルが適切ではないと感じた学生の評価割合を分析すると、難しいと感じた学生が5%、易しいと感じた学生が1%であったため、妥当であると判断した。
- ・授業のレベルが適切かという問いに、「強くそう思う」と回答した学生は55%に止まっていたが、「あまりそうは思わない」と回答した学生は1%であったことから、学生のモチベーションを高めることで現状のレベルを維持して行きたいと思います。
- ・納得できる。(理由) 設問Ⅲ-9で、「強くそう思う」が77~80%、「ややそう思う」と併せると98~100%だったため。
- ・レベルについては、前々年度の企業とのコラボ、前年度の震災と比較するとレベルは低く設定しています。今回は、自分たちが考えて選出したにも関わらず、内容が想像以上に難しかったようです。
- ・かなりレベルは落としているので、これでよいと思う。
- ・概説系の必修科目については、レベルについて若干評価が低かった。テストを単元毎に分ける等工夫をしているが、学生間の学習意欲や能力差を考えればある程度はやむを得ないと感じている。

- ・前述と重複しますが、易しい内容にすれば、学生からの評価は上がります。しかし実践女子短期大学として、どこに照準をあわせるかとなれば、非常勤の立場では学生に合わせるようにしたいと考えます。
- ・概ね満足できる結果であった。
- ・概ね適切であったと思う。学生にレベルの差はあるが各々の力を伸ばすことができたと思う。
- ・コミュニケーション上の難しい事例をどう伝えるかの練習は実践型であったため、難しいと感じた学生がいたようでした。
- ・コメントシートに今回は少し難しかったとの声があった時は、次回に少しかみくだいてフォローするようにしたので、全体的には理解が良くなったのではないのでしょうか。
- ・多くの学生が「強くそう思う」「ややそう思う」と回答しているが、テストの成績からすると理解度に不安を感じるので、授業方法の工夫が必要と考えている。
- ・昨年よりわずかにレベルを下げた講義にしましたが、それでも今年の学生には難しかったかと思いました。
- ・昨年と同じようなレベルの授業ですが、「適切であった」の平均点が低いので、工夫していきたいと思います。
- ・「適切」との回答が多数だが、途中段階で思ったより学生の理解が進んでいないため、レベルを下げた背景がある。不明点を放置している学生が多い。将来に向けた知識と技術の習得に向けて講義を活用するアグレッシブな姿勢が欲しい。その点で受動的であるとの印象を受ける。
- ・学生の状況をみながら、テキストだけでは物足りない学生には補充したが、より個々の学生のレベルを把握して、適切に補充していきたい。
- ・今回必ずしも、レベルを易しくするのではなく、科目によっては、やや高いものを授業で学生に提供した方が良い結果を生むことがわかりました。
- ・「あまりそう思わない」と一部の受講者より回答がありましたが、大半の受講者が「強くそう思う」「ややそう思う」と回答していましたのでレベルに関して特に問題はなかったかと思われます。
- ・今年度は短大の講義内容に新しい事項を増やし、若干難しくしました。しかし、90%の学生がレベルは適切だったと感じているようなので、安心しました。
- ・学生にとってやや上のレベルを設定して講義をしましたので、「ややそう思う」に評価が集まったのは意図した結果となったと思います。
- ・90%以上の学生が「強くそう思う」「ややそう思う」と回答していることから、レベルは適切であったと思う。
- ・概ね適切であったと思う。
- ・アンケート結果を踏まえて調整することにより、この数年レベルを適正なものにすることができていると思います。
- ・資格取得にあたり、養成に必要なレベルは下げつもりはありません。学生の評価か

らみても、学生もそのことを受け止めてくれたと思います。

- ・社会で役立つ、通用する専門知識や技術を取得させることに主眼を置いているため、授業のレベル的には他大学と比べれば、レベルは決して低くはないと思う。将来、専門職として就業したいと考える学生には必要な内容であると思っている。

b.量について (有効回答数 28/45)

- ・2年生で平均が4.8と4.9、1年生では、4.0と4.1。1年生で1人「やや多い」でした。例年より、1年生でポイントが低いのですが、特に今年増やしていませんし、感じ方のちがいと思います。
- ・少し多かったのかなと思います。
- ・量的にも「aレベルについて」と同様な傾向が伺える。
- ・やや少なめだったかと思うが、課題にやり残しが出ず、きちんとやったという満足感を残せたと思う。
- ・「強くそう思う」と「ややそう思う」を合わせると91.3%なので、学生にちょうど合っているのではないかと思います。
- ・やや難しいと答えた学生もいたようですが、必修のため致し方ないかと思います。
- ・量的にはこれ以上減らすのは難しいので、レベルとの兼ね合いで調整する必要がある。
- ・量が適切ではないと感じた学生の評価割合を分析すると、4%であったため、妥当であると判断した。
- ・授業の量が適切かという間に、約60%の学生が「強くそう思う」と回答し、「あまりそうは思わない」と回答した学生は1%であったことから、学生のモチベーションマップに配慮しつつ現状の量を維持して行きたいと思います。
- ・納得できる。(理由)設問Ⅲ-11で、「強くそう思う」が75~76%、「ややそう思う」と併せると98~100%だったため。
- ・レベル同様に、量についても、例年より少し落としているものの、授業外課題などに対する抵抗が強かったように思えます。
- ・分量もかなり減らしているので、これでよいと思う。
- ・限られた時間でたくさん教えたいと思うため、量が多いと感じる学生もいます。一方で基礎知識のある学生には量的には問題なしとなるでしょう。
- ・概ね満足できる結果であった。
- ・適切であったと思う。
- ・若干多いという意見があったようです。パワーポイントの枚数や文字量を絞るなどの工夫をしたいと思います。
- ・授業内容の量について工夫をしていきたい。
- ・やや多かったかという印象です。
- ・「適切」との回答が多数だが、理解が進んでいない学生に進度を合わせてゆっくりとポ

イントを絞って講義を進めた背景がある。本当は理解が進んでいる学生にとっては暇だったはずで、楽な講義との印象を持たれていると思われる。

- ・学生の状況をみながら、調整したので、適切である。
- ・選別して毎回の授業案を練り、授業に向かったが、アンケート結果から、現在の学生の基礎知識量をもっと考え、本当に必要な情報に絞る必要も文学系の科目では、必要かと考えている。
- ・「どちらとも言えない」との回答が 11.8%ありましたが、大半の学生が「強くそう思う」「ややそう思う」と回答していましたので、量に関しても特に問題は無かったかと思われれます。
- ・約 90%の学生は大丈夫でしたが、若干増えた授業内容や展覧会の見学課題などに少し大変だと感じた学生も 10%いました。体験学習を通して、興味や関心の幅は広がるようですが、学生の大きな負担にならないよう、実施の方法は今後も検討していきたいです。
- ・半数の学生が「強くそう思う」、35%の学生が「ややそう思う」と回答していることから、適切な量だったと思う。
- ・概ね適切であったと思う。
- ・少し多かったかもしれません。
- ・講義開始時に、資格取得に必要なとする範囲からも 1 回当たりの講義内容、配布資料が量的に多くなることを学生に話しておきましたが、学生も受け止めてくれ、努力したと思います。
- ・専門分野に関して広く捉えている科目のため、与えられた時間を有効に活用しできるだけのことを伝えたいと思っている。演習科目のため、作業の積み上げとともに進行しており、取り組み姿勢次第で期日直前での作業量が多くなってしまいが生じる。

設問 3. この評価結果を踏まえて、今後の授業で特に改善を図りたい点はどんなことですか。 (有効回答数 4/45)

- ・授業全体のレベルは落とさないようにしながら、多少量を減らしても、丁寧な解説を心がけるなどしていこうと思います。
- ・学生のイメージと授業内容が、少しかけはなれているため、学生の意欲を高める工夫をしたいと考えています。
- ・授業の難易度が「易し過ぎた」と回答した学生が 1 名いましたので、より学びたい学生に向けて、参考資料の紹介や自由課題を提示したいと思います。
- ・質問にはっきり Yes か No で回答しないと「不満」と評価する性格の学生に対し、「いろいろな考え方がある」「自分で答えを見つける」といった回答を、受け入れてもらうような努力も必要なのかと感じました。

設問4. この評価結果を見て、学生に対する要望としてはどんなことがありますか。

(有効回答数 10/45)

- ・意欲的な学生とそうでない学生がはっきり分かれてしまったのが残念です。月曜1限だったせいか脱落者が多数出てしまいました。
- ・遅刻や欠席が多い学生が増えてきています。高校時代までに身につけているはずの教室で学ぶ姿勢は、短大入学後も崩さないでほしいと思う学生が増えているのは残念です。
- ・要望ではなく感想になりますが、「インターネットをコピーしないでどうやってレポート書くんですか？」という受講生の質問に象徴されるように、自分自身で考える能力の低下、活字離れといったことに対処する教育が必要と感じました。
- ・授業中の集中力を高めて欲しい。あまり集中していないようです。
- ・居眠り、携帯メールなど基本的なマナーが出来ていないことがとても気になりました。
- ・履修変更で、遅れて授業に参加する学生は、はじめから受講している学生以上に、欠席はしないよう注意してほしい。
- ・まずは講義をしっかりと聴き、配布資料をよく読み、授業の内容を頭の中に入れる努力をしてほしいと思います。
- ・授業中に内職（ほかの科目の宿題や予習など）をしている学生が目についた。出席することではなく、授業に参加することが大事なのだと認識してほしい。
- ・興味や関心が増したことは、さらに自主的な学習を進め、講義内容以外のことでも質問したりして深めてほしいと思います。栄養士業務において料理ができることは、大きな力になりますので、学生に話していますが、日常生活の中で、積極的に料理に取り組んで欲しいと思います。
- ・栄養士として実務に就く上で、大切な技術の向上を図るために、家庭でもっと復習してほしい。「私語を慎むなど受講態度をよくしてほしい」に関連しますが、集中力を養ってほしい。

設問5. 授業改善に関することで、学校への要望があれば具体的にお書きください。

a. ハード面（情報機器、用具、備品など）について (有効回答数 13/45)

- ・設備（特に排水管など）が老朽化しており衛生面でも不安な点がありますが、神明キャンパスは使わなくなるので仕方ありませんが栄養士養成、教育上好ましくありません。
- ・教室の規模が大きすぎたかなと思います。
- ・DVD機器の操作がもっと単純になるようにしていただきたい（利用教室ではDVDビデオ経由）。
- ・DVDプレーヤーの貸し出しについて、ルールなどを明確にして欲しい。
- ・家で録画したDVDがどこでも観れるようになればいいと思います。

- ・視聴覚教材を使う機会が多く、いつも副手の方にお世話になっています。大学の予算が許す限り充実させていただければ幸いです。
- ・レーザーポインターを使用する場合、ハンドマイクとの併用は困難なため、マイクは全教室においてピンマイクを用意頂きたい。
- ・狭い教室でもパワーポイントが使えると助かります。
- ・DVDの映像が再生できない場合があります。機材、アプリケーションなど、点検をしていただければ幸いです。
- ・ホワイトボード用マーカーの極太を充分量準備していただきたい。
- ・夏期集中講座（国家試験・旅行業務取扱管理者試験）期間中ほとんど図書館は休館中でしたので一部の期間でも開館して頂ければ問題集等を貸出してもらい受験対策に役立ったのではないかと思います。受講者からも問題集を借りに図書館に行きました。が休館中でしたとの声も聞いています。ご検討頂ければ幸いです。
- ・昨年度ほどの情報機器のトラブルもなく、常に適切に情報機器を準備して頂いたので、授業を円滑に進めることができました。ありがとうございました。
- ・現状で問題なく行わせて頂きました。

b. ソフト面等について（有効回答数 7/45）

- ・副手の方が大変良くしてくださいました。
- ・SPSSのバージョンが低いことが少々気になります。実践の学生にとっては、講義資料との少しの違いが大きな違い（戸惑い）になってしまうため今回は使用しませんでした。
- ・副手の方々、講師控え室の職員の方々が、いつも親切に又熱心にサポートして下さり、感謝しています。
- ・5時限目が終わった後に事務室以外が閉まってしまうため、授業の進度が予定通り進まないときに、次週の準備で不便さを感じます。一方で事務の皆さんの労働を軽減することを考えると一概には言えないと思っています。
- ・補講の日程をもう少し余裕をもって設定していただき良かった。
- ・今年度も講師室の方にいろいろと細かなことでお世話になり、学生と教員との連絡を取り持って頂きました。お手数をおかけしましたが、本当に感謝致しております。
- ・学生が勉学に遅れないように、欠席した学生への資料配布なども、副手さんが協力してくれて助かりました。

設問6. 学生アンケートの内容、実施方法について、ご意見やご要望があれば具体的にお書きください。（有効回答数 15/45）

- ・授業計画に沿った授業は、学生のレベルや興味に沿うように授業を進めることと矛盾する場合がある。そう考えると、設問3（講義概要などの授業計画にそって、授業は進められましたか）のポイントが高いことはさほど重要ではないのではないかと

と思う。

- ・今年も高い評価を受ける事ができ、大変大きな励みになりました。今後も同様の学生アンケートの継続を希望します。(個人的には特に「自由記入欄」のコメントが参考になりました。)
- ・これは、すべての大学に共通していることなのですが、授業評価は海外から取り入れたものですが、日本文化ではうまく機能していません。すべてが機能していないわけではありませんが、個人的に授業に工夫をすればするほど、授業評価が落ちるという現実にあります。最近の学生用語では「らくたん」と言いますが、楽に単位が取れる授業の方が高い評価となり、自分自身複数科目を持っている大学でも、社会に役に立つよりも、単位を取る楽しさの方が評価をする際のポイントになってしまっています。
- ・学生から、マークが塗りつぶしにくいとのコメントがあった。
- ・毎回自由記入欄を活用している。質問項目の6および13~15の根拠を具体的に把握することができるため授業改善に結びつきやすいし、励みにもなる。
- ・今の時代には授業アンケートは必須でしょう。しかし気分で回答するようなこともあるかと思います。むしろ大学側がどのように利用するのか、指標を教えていただければ幸いです。
- ・学生アンケートの記述欄は非常に参考になるので、これからも推進してほしい。
- ・毎回、学生の隠れた意見や、授業の受け止め方・理解の度合いなどがわかり、授業改善に役立っている。
- ・学生と教員の双方向的のやり取りができるようなアンケート内容や方法にもう少しなれば良いと思っております。お互いの考えていることをより良く知ることができる場がさらに増えればと考えます。
- ・例年、問16,17について特に指示をしていないにもかかわらず、回答する学生がおります。このような回答を含んでしまうと、集計結果は無効となるのではないのでしょうか。
- ・Ⅱの7は、「質問したことがある場合」と入れるべきではないか。
- ・自由記述欄に学生が感想を書いてくれることは、大変喜びになり参考になります。
- ・質問内容によっては、回答の理由を記入できる記述欄があると、より参考になると思います。また、自由記入欄に、意見や質問を記入した場合に、担当教員より返事が欲しい人は記名することを勧めていただくと、学生にもフィードバックができ、アンケートをより活用できると思います。
- ・学生もあまり回数が多いと、機械的にマークしがちなので、すべての科目で実施しなくてもよいのではないのでしょうか。1科目だけでも感触はつかめると思います。
- ・レベルについて「学生に、より高いレベルの知識・技術を学んでほしいが、中には簡易な内容の方を望む学生もいるように思います。」と記しましたが、とにかく、学

生は安易で楽な方を求め、(簡単で) 平易な指導を「良」とする傾向がある(評価する)ので、学生アンケートを表面的にそのまま受け止めるのは問題と思います。

《教員アンケートによるご意見》

2012年度 前期分

希 望 項 目	回 答
①DVDプレーヤーの貸し出しのルールを明確にしてほしい。	原則、VHSやDVDプレーヤーは教室に常設しております。リモコンを使用する場合は、講師室か各学科の助手・副手にお申し出いただくか、教務担当までお越しくください。ブルーレイレコーダーを使用する場合は、教務担当にお申し出ください。(教務担当)
②夏期集中講義期間中も図書館を開館してほしい。	開館日程は学事日程に合わせるよう努めております。学園一斉休校期間と蔵書点検作業期間(例年8/11～8/31)は閉館しており、それ以外は開館しております。夏期集中講義期間を事前にお知らせくだされば対応致しますので、図書館までお申し出ください。(図書館)
③5時限目が終わった後に事務室以外が閉まってしまうため、次週の準備ができないことがあります。	講師室の勤務時間もありますので、パソコンの準備等は授業前に早めに出校していただき、用意をお願い致します。資料のコピーは、一週間前であれば講師室で対応できますので講師室へお申し出ください。(教務担当)
④補講の日程に余裕を持って設定してほしい。	実践女子大学と学事日程を合わせて設定していますので、その期間内での実施にご協力をお願い致します。(短大教育研究センター)
⑤授業評価アンケートを学校側はどのように利用するのか、指標を教えてください。	授業評価アンケートは学生による全科目にわたる授業評価であり、各教員が自らの授業を評価するときの指標となるとともに、授業改善に資することを目的にしております。短期大学としては、教育の総合的な指標として認識することができ、自己点検・評価活動において活用し、教育力の向上に努めたいと考えております。(自己評価委員会)
⑥授業評価アンケートを毎回すべての科目で実施しなくてよいのではないか。	その学期の評価を得ることによって、教員と学生が協力して授業のよりよい改善を図り、今後の授業展開につなげていく意味から、毎回実施しております。(自己評価委員会)

「学生による授業評価」に関する教員アンケート

自己評価委員会

2011年度前期授業アンケートについて、以下のアンケート項目にお答えください。

1. 学生の評価を全体としてどう受けとめましたか。（1つ選んでください）

【回答欄】

1. 十分納得できる
2. だいたい納得できる
3. あまり納得できない

- ・ 納得できる点、あるいは納得できない点があれば具体的にお書きください。

2. 授業のレベルと量についての学生の評価はいかがでしたか。この評価について、先生の側から見たご意見があればお書きください。

- a. レベルについて

- b. 量について

3. この評価結果を踏まえて、今後の授業で特に改善を図りたい点があれば下記からお選びください。（複数回答可）

【回答欄】

--	--	--	--	--

1. 教科書の選び方、授業時における使い方を工夫する。
2. シラバスの書き方を工夫し、シラバスに添った授業を行う。
3. 教室での話し方、板書の仕方などを工夫する。
4. 授業時に配付する資料を充実させる。
5. ビデオや映像資料などの視聴覚教材やマルチメディアの活用を図る。
6. 学生との質疑応答など、教室内のコミュニケーションをよくする。
7. 一方的な講義でなく学生の参画や体験学習にも力を入れる。
8. その他。

「その他」をお選びの場合には、改善を図りたいと考えている点をお書きください。

4. この評価結果を見て、学生に対する要望としてはどんなことがありますか。（複数回答可）

【回答欄】

--	--	--	--	--

1. 私語を慎むなど受講態度をよくしてほしい。
2. もっと積極的に質問をしたり、授業後でも分からないことがあれば聞いてほしい。
3. 教科書や教室で指示した参考書を読むなど、授業時以外でも勉強してほしい。
4. 欠席はもちろん、遅刻、早退をしないように努力してほしい。
5. その他。

「その他」をお選びの場合には、その要望をお書きください。

--

5. 授業改善に関する事で、学校への要望があれば具体的にお書きください。

a. ハード面（情報機器、用具、備品など）について

--

b. ソフト面等について

--

6. 学生アンケートの内容、実施方法について、ご意見やご要望があれば具体的にお書きください。

--

ご協力ありがとうございました。

集計の結果は、自己評価委員会で報告書にまとめた上、Web 上でも公表する予定です。
なお、自由記述に関しては、必要に応じて字句や表現を修正させていただく場合があります。

提出締切は、10月13日（土）です。

授業に関するアンケート

実践女子短期大学

このアンケートは、学生の皆さんの意見を受けとめて、短大の授業をより良くしていくために行うものです。アンケートは無記名で行い、調査結果もデータとして統計処理します。誰が書いた回答かわかりませんし、授業の成績とも関係しません。あなたの思っていること、感じていることを正直に答えてください。

良いマーク 悪いマーク

所属学科	<input type="radio"/> 日本語コミュニケーション学科 <input type="radio"/> 生活福祉学科 <input type="radio"/> 英語コミュニケーション学科 <input type="radio"/> 食物栄養学科 <input type="radio"/> 実践女子大学 <input type="radio"/> その他	授業名	
在籍学年	<input type="radio"/> 1年生 <input type="radio"/> 2年生 <input type="radio"/> 単位互換生 <input type="radio"/> その他	担当教員名	

評 価 項 目		マ ー ク 欄					
あなた自身の授業の取り組みについて	1	あなたはこの授業中に授業と関係ない会話をしたことがありますか	全く しなかった (5)	ごく まれにした (4)	時々した (3)	かなりした (2)	毎回した (1)
	2	あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか	そう思う (5)	やや そう思う (4)	どちらとも 言えない (3)	あまり そう思わない (2)	そう 思わない (1)

教員の授業の進め方について	3	講義概要などの授業計画にそって、授業は進められましたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	4	授業内容はあなたにとってわかりやすく工夫されて いましたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	5	教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすいものでしたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	6	この授業の教科書・資料や視聴覚教材の使用は 適切でしたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	7	質問に対する教員の対応は適切でしたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	8	総合的に考えて、教員は熱心に授業を進めましたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→

授業の内容について	9	授業内容のレベルはあなたにとって適切でしたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	10	9で(2)か(1)にマークした人は次の質問に教えてください 授業内容の難易度はあなたにとってどうでしたか		難し過ぎた (5)	やや難しい (4)		やや易しい (2)	易し過ぎた (1)	
	11	授業内容の量はあなたにとって適切でしたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	12	11で(2)か(1)にマークした人は次の質問に教えてください 授業内容の量はあなたにとってどうでしたか		多過ぎた (5)	やや多い (4)		やや少ない (2)	少な過ぎた (1)	
	13	この授業を受講して、あなたの興味や関心はふえましたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	14	この授業を受講して、新しい知識あるいは技術を 得ることができましたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
15	総合的に考えて、この授業を受講してよかったです と思いますか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→	

授業別の特別設問	16	この項目は、教員から特に指示された場合のみ回答してください	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	17	この項目は、教員から特に指示された場合のみ回答してください	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→

自由記入欄（授業への感想や要望などを自由に書いてください。裏面使用可）

©2012 年度実践女子短期大学自己評価委員会

委員長：松尾昇治（教職・図書館学課程）

副委員長：加藤チイ（食物栄養学科）

委員：西脇智子（日本語コミュニケーション学科）
日野一男（英語コミュニケーション学科）

庶務：海野政司、寺師香織